



袋井あやぐも学園
袋井市立袋井中学校だより

あ や ぐ も

社会人としてのマナーを身につけ、主体的に行動する生徒の育成

— 自主・協同 —

～夢を追い続ける生徒の育成

令和2年12月25日発行

登校日数85日の2学期が終了しました

2学期も新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、生徒が安心、安全に学校生活を送れるように進めてきました。また、彩雲祭(体育大会)、あやぐも祭(合唱コンクール)などの学校行事では、保護者の皆様の御理解御協力により、予定されていた行事を無事に行うことができました。ありがとうございました。

<終業式 小澤校長先生の話(一部抜粋)>

今年の漢字は、皆さんも知ってのとおり、「密」という字となりました。それでは、みなさんが令和2年度の袋井中学校での学校生活を漢字1字で表すとしたら、どんな漢字を思い浮かべますか？

先日、前期と後期の生徒会の会長さんと副会長さんに、聞いてみました。すると、次のような漢字を考えてくれました。

まず、『彩』いろどりという字です。彩雲祭、あやぐも彩、に使われている『彩』。「一人一人が自分の色を持った中で、協力し合えたから。」という理由です。

次は、『共』共にという字です。「共(とも)に協力し、共に団結し、共に悲しみ、共に楽しんだ一年だったから。」という理由です。

次は、『支』支えるという字です。「コロナウイルスの影響で、学校生活がしづらい中でも、みんなの支え合いのおかげで乗り越えられたから。」という理由です。

そして、最後が、『越』越えるという字です。「コロナウイルスという困難を乗り越えて、いろいろな活動をしてきたから。」という理由です。

『彩・共・支・越』の4つの文字をならべると、「一人一人が自分の色つまり、それぞれの自分の個性を發揮し、共に支え合い、コロナ禍の中での困難を乗り越えていくことができた年」という意味になります。コロナ禍という制約のある中でしたが、みんなで協力して互いを高め合うことができたことを表しています。2学期の協力のステージが充実していたことにもつながりますので、ぜひ、このことは、みなさんの一つの大きな自信にしてほしいと思います。



今は、自鍛のステージですね。自鍛とは、自ら鍛えるという意味です。みなさんはそれぞれ自鍛のステージで個人の目標の達成状況はどうでしょうか。本日の学級活動の時間で振り返るとともに、冬休みには、新しい年を迎えるにあたって、じっくり自分に向き合って、どうやって自分をより高めていくかを考えてください。

<授業・部活動>

世界同時授業 12月16日(水)

1年生の授業で、外国の日本人学校、国内の小中学校の子どもたちとオンラインで繋がり「SDGsに関する行動宣言」について発表し合いました。質問や感想を言い合う中でSDGsへの理解を広げたり深めたりすることができました。

その他にも、国語科書写の「書き初め」、タブレットを活用した社会科や理科の授業、寒い中での保健体育科の「持久走」など、生徒はどの授業にも真剣に取り組んでいます。



水辺のコンサート(吹奏楽部)11月14日(日)

彫刻を作ろう(美術部)12月19日(土)

3年生が引退した部活動では、新体制で活動を順調に進めています。運動部は、地区の新人戦に向けて練習に取り組みました。個人・団体が県大会へと勝ち進んだ部もありました。文化部は、個人の技能を向上させながら作品づくりなどに取り組みました。



<三者・進路面談>

12月9日～24日(木)

三者面談・進路面談への御協力ありがとうございました。2学期の学校でのようすをお伝えしながら、3学期に向けての話をさせていただきました。3年生は、卒業後の進路について、本人、保護者の考えを確認しながら、進む方向性について話をさせていただきました。



<校内の各種工事>

3月26日(金)まで

2学期後半から、グラウンドで「貯留施設工事」が始まり、グラウンドへの駐車等では御不便をお掛けしました。冬休みから校舎の「給水管改修工事」が行われます。校舎周りに足場が設置されたり、グラウンドへ工事車両の出入りがあったりします。危険箇所もありますので、工事場所へは立ち入らないようにお願いします。

